

——北海道のU-35(若手世代)限定 研修会・ワークショップ——

『転機での決断』～あなたは多数派？ 少数派？～

青年技術士交流委員会では、平成27年6月13日に、さっぽろ大通コワーキングスペース ドリノキにおいて、新年度最初の活動となる研修会・ワークショップを行いました。

この開催概要等を以下にご報告致します。

1. イントロダクション

働いていてふとした瞬間にぶつかる『壁』。「こんなはずでは…」と思う一瞬。実現させたい『夢』へ向けて、目の前に迫られる『選択』。分かれ道を目の前に、自分に求められる『決断』。そんな「分岐点」にぶつかったとき、あなたはどのようにしますか？

今回のワークショップは、そんな『転機での決断』をテーマに、若手世代の同世代でディスカッション＆交流してもらう事を目的に開催しました。

2. クロスロードゲーム

今回のワークショップでは、防災教材でもある、カードを用いたクロスロードゲームという手法でのディスカッションを行いました。

このゲームは、ある設問に対して各自がYesかNoで自分の意見をカードで示し、多数決によって勝者を決定するというものです。勝者はポイントとして座布団をもらうことができ、その数を競い合います。なお、少数意見も貴重であるという観点から、その意見が1人のみだった場合には、その人に「金座布団」がもらえるという仕組みです。

初対面の参加者が多いという条件下のもと、クロスロードゲームを用いた狙いは3つありました。「考えることが大事」、「他人の意見を聞き学ぶ」、「自分の意見を相手にわかるように伝える」です。

3. 活発な意見交換からの新たな発見

中前千佳技術士の素晴らしい司会・進行の効果が絶大で、ワークショップは和やかな雰囲気の中、若手世代の活発な意見交換が行われました。

ワークショップ後に行った参加者アンケートでは、「自分とは違った視点での様々な意見があり、とても勉強になりました」、「普段はあまり付き合いの無い人と率直な意見交換ができ、とても有意義な時間でした」等の意見が寄せられ、当初の狙いは達成されたと思っています。



写真-1 中前千佳技術士の説明を熱心に聞く参加者達

それでは、最後に皆さんへのクロスロード問題です。「あなたは中小企業の中堅技術者です。この春、あなたにはじめての部下ができました。この部下、プライドが高い割に仕事が遅く、早めにやらないと間に合わないよと指導しましたが、明日は中間報告。やっぱり資料が間に合いそうにありません。ただ、彼に聞いてもプライドが邪魔して「大丈夫です」の一辺倒。あなたは、部下の仕事を手伝いますか？」
YES：手伝う NO：手伝わない

4. 青年技術士交流委員会も新たな段階へ

—第 14 期の始動、新体制の発足！—

去る平成 27 年 6 月の北海道本部年次大会より、これまで委員長を務めていた永井登茂美技術士から引き継ぐ形で、仁田智技術士が新しい委員長に就任し、平成 27 ～ 28 年度の第 14 期を迎えました。

永井技術士は、引き続き日本技術士会北海道本部の役員を担いながら、青年技術士交流委員会の女帝として君臨し続けます。



写真-2 年次大会における仁田新委員長就任挨拶の様子

それに先立つ形で行われた幹事会において、仁田委員長から、新副委員長、新幹事長が紹介された他、新たに幹事メンバーを増強し、総勢 38 名で第 14 期青年技術士交流委員会体制が発足しました(表-1 参照)。

青年技術士交流委員会の活動目的は、「若手技術士、若手技術者の交流促進、資質向上」、「技術士の知名度向上」、「若手会員の増強、技術士会への入会促進」⇒「楽しく、まじめに、ためになる活動を通して」であります。今期の最初の幹事会において、目的を達成すべく仁田委員長より以下の 3 つの活動方針が打ち出されました。

1. 多様な交流の場の創出、求められる資質の向上
2. 社会とのつながりを重視した活動、情報発信
3. 活動体制の強化

今期も委員長を中心として、よりアグレッシブな活動を展開していきたいと考えております。今後の青年技術士交流委員会の活躍にご期待下さい。

表-1 第 14 期青年技術士交流委員会体制

委員長	仁田 智(建設)
副委員長	小澤 正志(総監/建設) 平岡 城栄(建設) 木本 光則(建設、環境) 神保 祐一(機械)
幹事長	千葉 裕(建設)
幹事	田中 真也、井上 涼子、永田 泰浩、 永井 登茂美、岡 宣克、佐光 正和、 田中 雄太、滝澤 嘉史、川村 力、 古川 和洋、須志田 健、朝日 孝輔、 東本 靖史、福山 正彦、源野 雄輔、 石川 博規、小澤 俊博、宮下 謙次、 中前 千佳、斉藤 優太、齋藤 佳彦、 益子 直樹、三吉 憲一、森山 崇、 長内 克真、菊田 悦二、高橋 歩夢、 寺西 一也、藤井 貴弥、山橋 いよ、 西村 力哉、飯野 智紀

青技交オリジナル技術士 PR グッズ完成！

これまで、コンサルタンツ北海道や facebook 等でも紹介してきましたが、青年技術士交流委員会オリジナルの「技術士ノート」が完成しました。

専門の部門ごとに、技術士の仕事を紹介しており、仕事の一部を紹介する 4 コマまんがや、QR コードから携帯・スマホで動画が見られるなど、盛り沢山な内容となっています。詳細は次号を乞うご期待！

もう、facebook をチェックいただけましたか？

青年技術士交流委員会では、facebook ページを開設し、講演会やテクニカルスクールといった研修会の情報及び開催結果を、随時発信しています。



facebook アカウントをお持ちの皆様、是非、下記ページをご覧ください、「いいね！」して下さい。

<http://www.facebook.com/seigikyohokkaido>